

●モノグラフ

小学生ナウ

Vol. 10-11

子どもにとっての家族

目次

要 約	2
はじめに	4
1. 家族形態	5
● 家族の人数	5
● 父親・母親の就業状況	6
● きょうだい	8
● 子ども部屋	9
● 祖父母との同居	13
2. 家庭の雰囲気	14
● 家庭の雰囲気	14
● 食生活	15
● 子どもからみた家族の人びと	17
● 祖父母との関係	18
● 家族のつきあい	19
● 祖先崇拝	20
3. 親子関係	21
● 子どもからみた両親	21
● 親の期待に対して	24
● 親への反抗	24
まとめに代えて	27
地球社会の子どもたち ③ 国際比較調査(2)から—その2 学業成績	深谷昌志 28
資料1 調査票見本	33
資料2 学年・性別集計表	40

*おことわり：本文中に使用した写真は、本文・テーマとはいっさい関係ありません。

調査レポート
 子どもにとっての家族
 要約

東京学芸大学教授 深谷和子
啓明学園教諭 船越恵子

1. 家族構成

調査の対象となった子どもの平均の家族の人数は、4.6人（図1）、きょうだい数は2人であった（図6）が、理想はもっと多いほうがいいと思っている。（図7、図8）



2. 家庭の雰囲気

子どもは自分の家庭の雰囲気を、にぎやかで、楽しいが、忙しいと感じており、バラバラだと感じている子どもが4割もいる。（表1）

3. 父親に対する評価

子どもは父親に対して、家族の中でいちばんえらく、ものしりで、いばっているが、ほしいものを買ってくれると感じている（表2）。しかし、子どもの父親に対する心理的距離は、年齢と共に開く傾向があり、その傾向は特に女子において著しい。（図33）

●調査概要

庭について、どう感じているのかを探る。

1. 調査主題 子どもにとっての家族

3. 調査項目 家族形態、家族の雰囲気、親子関係

2. 調査視点 子どもたちが現在の家族や家

4. 母親に対する評価

一方、母親に対しては家族の中でいちばん気持ちをわかってくれて、こごを言うが、やさしいと感じている。(表2)

5. 食生活

食事を家族全員でそろって食べている家庭は約4割。食事の時間に家族全員がそろうことは難しいようである。朝食を1人で食べる子どもは約1割。また夕食時に父親が不在の家庭は4割を超す。(図18)



6. 祖父母との関わり

祖父母との同居を希望している子どもは約6割。しかし、祖父母との同居願望や親密度は、子どもの年齢と共に低下している。(図17)



7. 親への反抗

親によく反抗すると答えた子どもは全体の4割であったが、学年が進むほど増えており、6年生では5割を超えている。(図35)

8. 家に帰りたくない子ども

子どもの2割が家に帰りたくないことがあると答えている。これらの子どもは、家庭の雰囲気否定的にとらえている。(図36、図40)

4. 調査時期 1990年5月～7月

5. 調査対象 東京の小学4・5・6年生

6. 調査方法 学校通しによる質問紙調査

7. サンプル数 (人)

学年/性	男子	女子	計
4年	193	159	352
5年	174	187	361
6年	126	136	262
計	493	482	975



はじめに

時代の流れと共に家族の形やライフスタイルは多様な変化がみられるが、子どもの成長にとって家族の果たす役割が大きいという点では、いつの時代も変わりがない。

家族は子どもの成長に際して「保護」と「自立への準備」という2つの重要な役割を果たす集団である。子どもが赤ん坊のときは100%これを「保護」し、その成長につれて少しずつ保護の力を弱め、自立のための準備を加えてゆく。この2つの機能が発達段階によってバランスよく保たれているかどうか、子どもの成長を大きく左右する。子どもは生まれてくる家族を選べないだけに、親となる人びとは、例外なく自分の家族を健康で子どもにとって十分な教育力のある場にしておく責任がある。

ところが困ったことに近年、家族の中には次第に様々な病理が指摘されるようになった。現代の家族は多少とも病む集団であるともいわれる。家族は、一般的には他の社会集団よ

りは安定性のある集団であるとされるが、それでも家族を取り巻く社会の病理に少なからぬ影響を受ける。とりわけ最近のように社会環境の変化がめざましい時代では、それに十分対応ができないまま内部に様々な問題を抱えている家族が増加しつつある。

子どもの病理を探っていくと、多くの場合はその背後に家庭の問題がある。しかし、たとえその家族の中にどのような問題が潜んでいても、他からその内部に入り込むことは極めて難しい。事が人権問題に関わる状況にでも至らなければ、善意の援助さえ親たちの考え方によっては拒否されることもしばしばである。家族は外部の者にとって、まことに扱にくい集団でもある。

今回の調査は、変化する社会の中で、子どもたちが今、自分の家族をどうみているか、また家族の中でどのように暮らしているのかを知ることを目的とした。

1. 家族形態

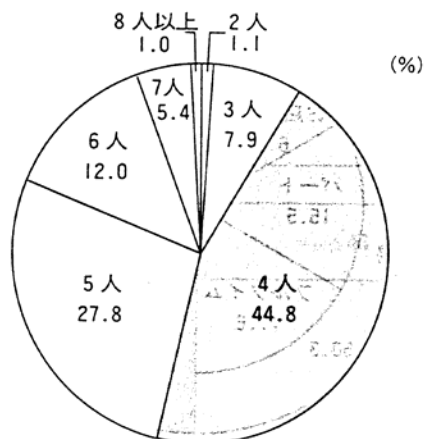


♣♣ 家族の人数 ♣♣

まず調査の対象となった子どもたちの家族の人数を示したのが図1である。最も多いのが4人家族で、全体の半数近くを占める。今回の調査は都市部において行われたため、核

家族が多く、両親と子ども2人というのが典型的な家族像と考えられる。続いて5人家族、6人家族の順で多くなっている。子どもたちの家族全体の平均は4.6人であった。

図1 家族の人数



♣♣ 父親・母親の就業状況 ♣♣

では調査の対象となった子どもたちの父親、母親の就業状況をみてみよう。まず、父親の仕事は図2が示すとおり、会社に勤めている割合が最も高く全体の6割近い。続いて、公務員・先生が15%となっている。

一方、母親の就業率を示したのが図3である。職業の有無別では、有職主婦が専業主婦をやや上回っているものの、両者はほぼ半々

である。有職主婦の中でフルタイムで働いているのは、夫と店を経営している者を含めると2割を超す。パート勤務は16%であった。

では子どもたちは、母親の就労に対してどう感じているのだろうか。母親が仕事を持っているほうがいいか、または専業主婦のほうがいいかを尋ねたところ、全体としては図4のように専業主婦を望む子どものほうが47%

図2 父親の仕事

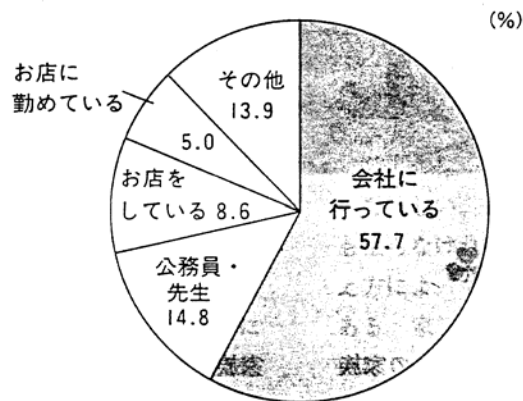
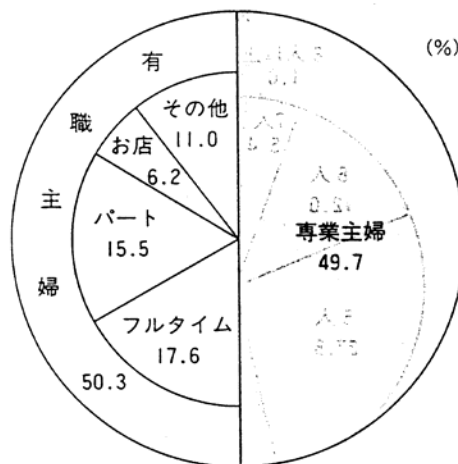


図3 母親の就業状況



と圧倒的に多く、有職主婦を望む者の19%を大きく上回る。

これについて、専業主婦の子どもと、フルタイムで働いている母親の子どもの意識を比較すると、図の下部に示したように母親の現状を肯定する傾向がみられる。すなわち、専業主婦の子どもは、67%が専業主婦の母親を望み、フルタイムで働いている母親の子どもで専業主婦の母親を望む者はわずか23%である。働いている母親を望む者も、フルタイムで働く母親の子どもが38%に対して専業主婦の子どもは8%にすぎない。

また、これを学年別にみると、図5のよう

に、54%、46%、38%と学年が低いほど専業主婦の母親を望む傾向がみられる。つまり年齢の低い子どもほど母親の存在が大きく、家に母親がいてほしいと感じている。逆に言えば、年齢が高くなるにつれて、子どもにとって家族の存在よりも、それ以外のもの、たとえば友だちの存在がより大きなものになってゆくのであろう。ただし、専業主婦を望む者の割合の減少分は働く母親のほうにはいかず、「どちらでもいい」が増加している。

図4 母親の就業に対する考え方×母親の職業の有無

	専業主婦がいい			どちらでもいい			仕事を持っているほうがいい		
	人E	46.6	34.6	18.8					
全 体	46.6	34.6	18.8						
専業主婦の子ども	66.8	25.3	7.9						
フルタイムで働いている母親の子ども	23.2	38.4	38.4						

図5 母親の就業に対する考え方×学年

	専業主婦がいい			どちらでもいい			仕事を持っているほうがいい		
	4年	5年	6年						
4 年	53.5	28.7	17.8						
5 年	45.9	34.3	19.8						
6 年	38.2	43.1	18.7						

♣♣ きょうだい ♣♣

子どもにとってきょうだいは、最も身近な遊び友だちである。しかし日常生活を共にするなど、友だちとはまた違った存在でもある。年下の子どもは、年齢の異なる兄や姉から学ぶことが多いし、年上の子どもは妹や弟をいたわりながら、リーダーの立場を学んでいく。ただし、昔はきょうだい数も多く、年

齢差が大きかったため、きょうだいでも立場が異なり、年長の子どもの年少の子どもの世話を担当するなど学ぶべき点多かった。しかし、現代のきょうだいの多くは、きょうだい数も少なく、年齢差が少ないため、似たような存在と化し、相互の教育力も低下しているといわれる。

図6 きょうだい数

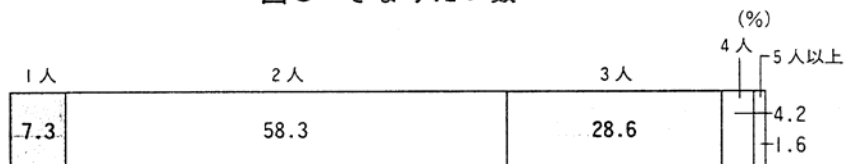


図7 もっときょうだいがほしいか

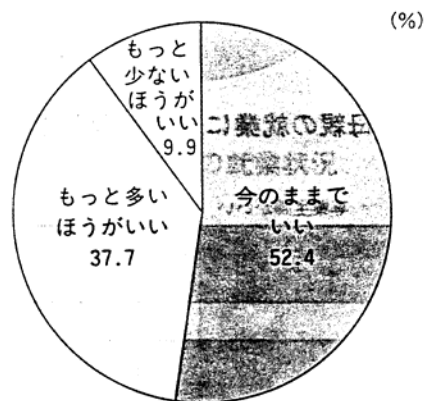
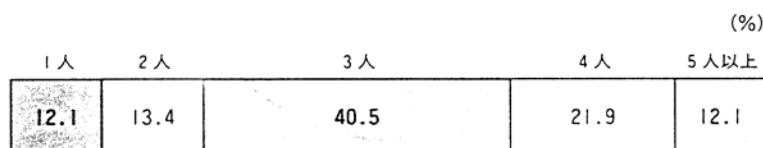


図8 理想のきょうだい数



さて、調査対象となった子どもたちのきょうだい数は、図6のように2人きょうだいが6割近くを占める。続いて3人きょうだいが多く、1人っ子は7%であった。きょうだいの数について、子どもたちの過半数は「今のままでいい」と答えているが、残りの約半数

の子どものうち約4割が「もっと多いほうがいい」と思っている(図7)。そして理想のきょうだい数は平均3.2人で、3人と4人を希望する子どもが全体の6割を占める(図8)。子どもたちは現状よりも、もう少しきょうだいをほしがっていることがわかる。

♣♣♣ 子ども部屋 ♣♣♣

子どもにとって家庭の中で最もくつろぐことのできる場所は、子ども部屋なのか、それとも家族のいる居間か食堂なのだろうか。まず子ども部屋の所有状況を見ると、きょうだいと部屋を共有する子どもが52%と最も多く、過半数を占める(図9)。自分だけの部屋(個

室)を持っている子どもは全体の3割にすぎない。

では子どもたちは、子ども部屋でどのような生活をしているのだろうか。まず子ども部屋にテレビのある子どもが3割もいる(図10)。なおテレビの所有状況を男女別にみると、男

図9 子ども部屋の所有状況

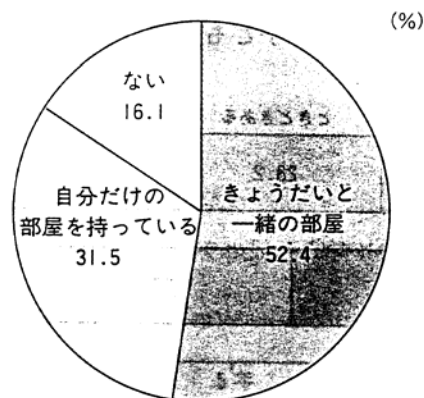
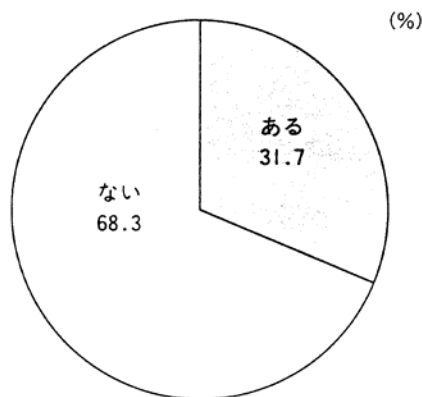


図10 子ども部屋のテレビの所有状況



子のほうが所有率が高い(図11)。子どもとテレビ、あるいはテレビゲームとの密接なつながりがうかがわれる結果である。

また子どもたちは、子ども部屋でおやつを孤食をしている様子もうかがえる。図12が示すように「勉強机にお菓子を入れておくことがある」と答えた子どもは、「よくある」と

きどきある」を合わせて4割程度もいる。

そして「1人で部屋でお菓子を食えることがある」と答えた子どもは6割を超える。この傾向は学年が進むにつれて多くみられるようになる(図13)。これは家人のいないときの光景なのか、それとも家族がいても自分の部屋にこもって食べるのだろうか。

図11 子ども部屋のテレビの所有状況×性別

(%)

	ある	ない
男子	36.8	63.2
女子	26.5	73.5

図12 子ども部屋での孤食

(%)

	よくある	ときどきある	ほとんどない
勉強机にお菓子を入れておくことがある	12.9	28.2	58.9
1人で部屋でお菓子を食えることがある	24.7	37.1	38.2

また子どもたちの就寝形態をみると、図14のように、「きょうだいと一緒に」という形態が最も多く約4割を占める。「部屋で1人で寝ている」子どもは3割、「親と一緒に寝ている」という子どもも2割近くいる。就寝形態を学年別にみると、「親と一緒に寝ている」子どもは、4年生で23%、5年生で19%、6年生で

16%と、さすがに学年が進むにしたがって少なくなることがわかる(図15)。

以上、子ども部屋の様子をみてみたが、住宅事情にもよるものの、年齢を考えたときに、子ども部屋の与え方や、その使われ方は妥当なものだろうか。

図13 「1人で部屋でお菓子を食えることがある」×学年

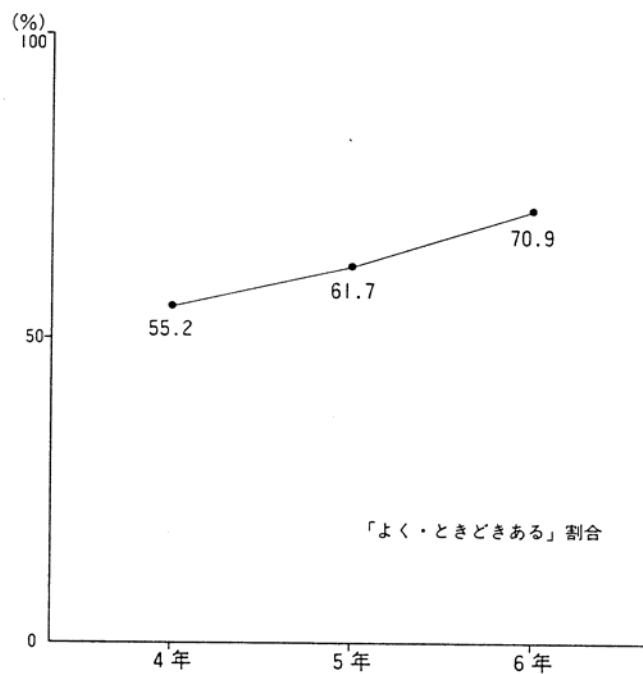
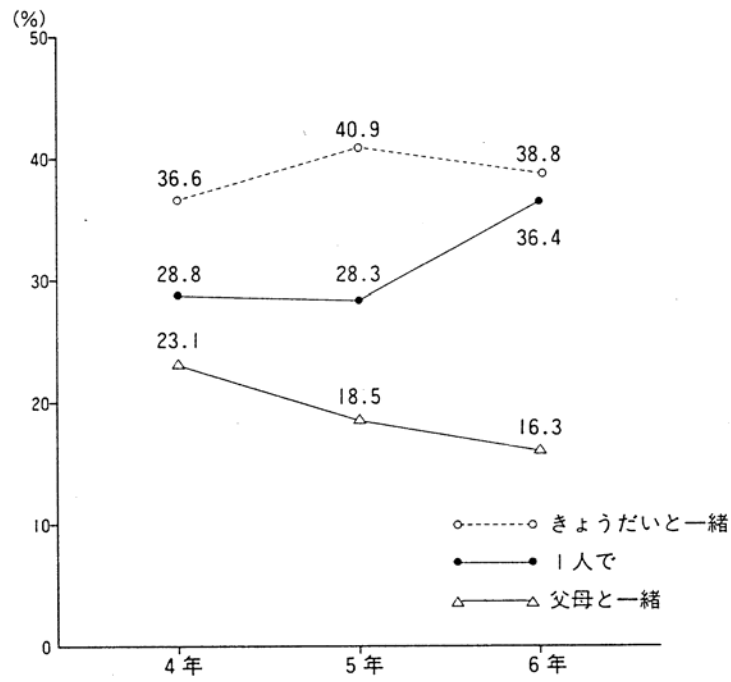


図14 就寝形態

(%)

きょうだいと一緒に	一人で	父母と一緒に	その他
38.8	30.7	19.5	11.0

図15 就寝形態×学年



♣♣ 祖父母との同居 ♣♣

調査の対象となった子どもの中で、祖父母と同居している子どもは図16が示すとおり約3割であり、同居していない子どものほうが圧倒的に多い結果となった。では、子どもは祖父母との同居をどのように考えているのか。「家におじいさん、おばあさんがいたほうがいいか」という問いに対して6割の子どもが

「いたほうがいい」と答えており、「いないほうがいい」(6%)を大きく上回っている(図17)。しかし祖父母との同居願望を学年別にみると、学年が進むにつれてその割合が少なくなっている。祖父母と孫の心理的距離は孫のほうから次第に遠くなっているのだろうか。

図16 祖父母との同居

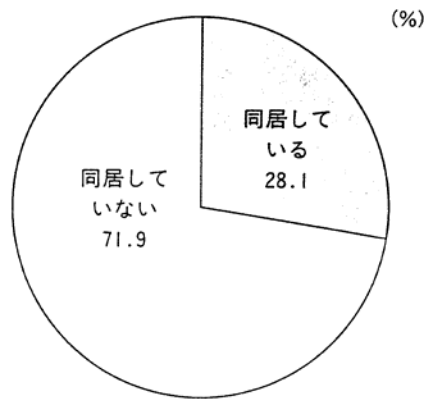
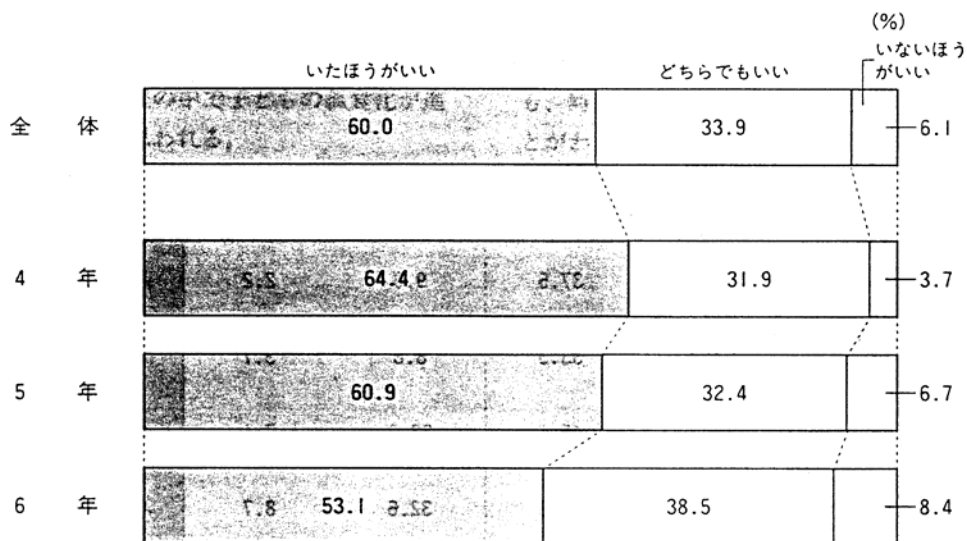


図17 祖父母との同居希望×学年



2. 家庭の雰囲気



♣♣ 家庭の雰囲気 ♣♣

子どもたちは自分の家庭の雰囲気をどう感じとっているのだろうか。表1は子どもたちの中にある家庭のイメージである。全体として

は、家族は「にぎやか」で、「楽しい」、そして「まとまっている」ものの、「忙しい」と感じている子どもが多い。そして家族が、「バラ

表1 家庭の雰囲気

(%)

	とても	少し	少し	とても	
にぎやか	51.3	37.5	9.0	2.2	静か
楽しい	54.2	33.3	8.8	3.7	つまらない
忙しい	14.2	45.1	33.6	7.1	のんびり
まとまっている	15.4	43.3	32.6	8.7	バラバラ

バラである」と感じている子どもも4割を超えている。あわただしい現代の生活の中で、子どもたちが時間に追われる生活を送っていることはよく指摘されるが、安らぎの場としなければならない「家庭」も、何か落ち着か

ないものになっているようである。また少数ではあるが「つまらない」と感じている子ども「少し」「とても」を合わせると13%に達する。これは気がかりな数値である。

❖❖❖ 食生活 ❖❖❖

では、家庭に対して子どもたちを「忙しく」「バラバラである」と感じさせている要因は何か。その要因のひとつとして家庭の中の食生活が考えられる。図18は、ご飯を誰と食べるかを朝食、夕食別に尋ねたものである。その結果、朝食を家族全員で食べている子どもは3人に1人しかなく、朝食を1人で食べている子どもも1割程度いる。

一方、夕食では、家族全員で食べる割合が朝食よりも42%と若干増えているものの、夕食時の父親の不在も42%と目立っている。

また、夕食を1人で食べている割合は巻末の集計表によると、4年生と5年生では1%未満なのに対し、6年生になると5%に増えている。6年生になると塾へ通う割合が高くなるが、夕方から塾へ行くために家で1人でご飯を食べたり、あるいは塾でお弁当などを食べることが考えられる。先の章で、子ども部屋の机の中にお菓子を入れたり、子ども部屋で1人でお菓子を食べている子どもの姿がみられたが、家庭の中で子どもの孤食化が進んでいるように思われる。

食卓の風景にも見いだされる、「忙しく」「バラバラ」な家庭生活は、子どもの成長にどういふ影響を与えるのだろうか。

次に食事のとき、「ご飯をよそう順番が決まっているか」を尋ねたところ、決まっていない家庭が7割を占めた(図19)。父親からよそうという伝統的な家庭はわずか12%。子どもからよそう、子ども中心の家庭は14%。また夕食時に「お父さんの帰りが遅くなった場合、どれくらいだったらご飯を食べないで待っているか」という問いに対しても、「待たない」という家庭が最も多く6割を超えている(図20)。父親の家庭内の地位は、食生活に現れた部分をも、やはり大きく低下していることがわかる。

また、ご飯やおかずが配られたとき、「みんなそろってから食べ始める」家庭の子どもが5割に対して、「バラバラに、よそった順にすぐ食べ始める」欧米スタイルの家庭も4割近くある(図21)。家庭の生活とそのスタイルも、時代と共に少しずつ変わってきていることがわかる。

図18 ご飯をいつも誰と食べるか

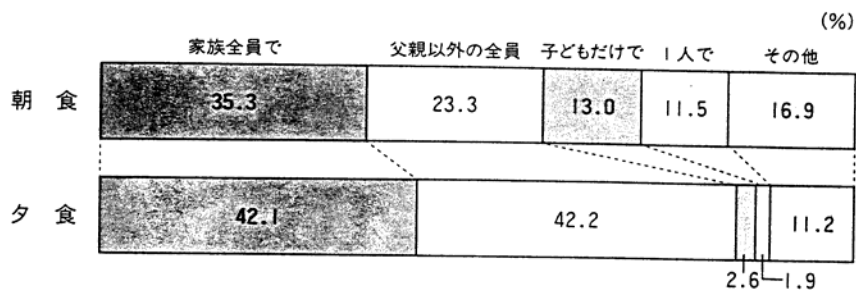


図19 ご飯をよそう順番

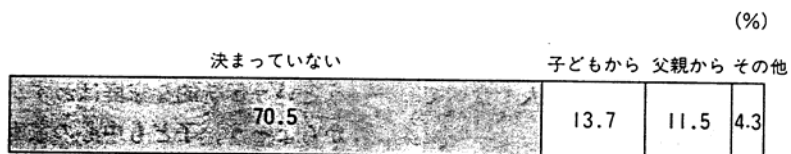


図20 父親の帰りを待つか（夕ごはん）

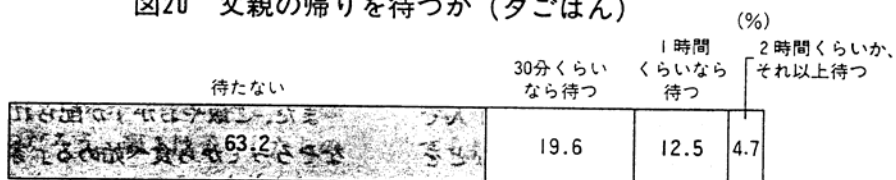
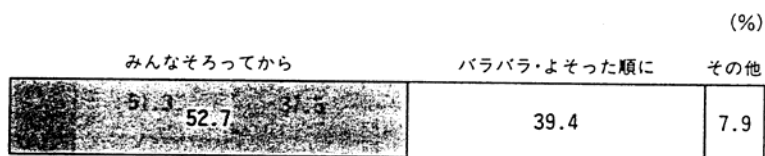


図21 ご飯の食べ始め方



♣♣ 子どもからみた家族の人びと ♣♣

次に、家族の中での父母の権威や地位をみるために9つの評価を用意して、「次のことがいちばんあてはまるのは誰か」と尋ねてみた。その結果を父親・母親別に示したのが表2である。まず父親選択の割合の高かった項目は、「いちばんえらい」(76%)、「いちばんものしり」(62%)、「いちばんいばっている」(39%)、「いちばんほしいものを買ってくれる」(36%)であった。

一方、母親に対して選択の割合の高かった

ものは、「いちばん気持ちを知っている」(67%)、「いちばんこごとを言う」(57%)、「いちばんやさしい」(40%)などであった。現代の父母像は変わってきているといわれるが、子どもたちの目を通して見た限り、パーソンズの「道具的役割 instrumental role」(引っ張り役)、「表出的役割 expressive role」(まとめ役)の父母像は、現代でも子どもの中では比較的不変なものようである。

表2 子どもからみた家族の人びと

		(%)				
		父親	母親	祖父	祖母	その他
父親 選択の 多い 項目	1. いちばんえらい	76.3	7.4	10.5	3.4	2.4
	2. いちばんものしり	62.4	17.1	7.4	6.1	7.0
	3. いちばんいばっている	39.2	12.2	2.7	1.1	44.8
	4. いちばんほしいものを買ってくれる	35.9	24.5	9.5	20.6	9.5
母親 選択の 多い 項目	5. いちばん気持ちを知っている	11.5	66.5	2.0	5.5	14.5
	6. いちばんこごとを言う	16.0	57.1	2.1	5.0	19.8
	7. いちばんやさしい	27.0	39.7	6.5	19.1	7.7
	8. いちばん遠慮している	9.9	35.0	5.0	13.6	36.5
	9. いちばんかわいそう	9.5	21.9	3.7	8.3	56.6

❖❖ 祖父母との関係 ❖❖

核家族化が進行している一方、高齢化社会の到来によって、家族と高齢者の関係はますます難しいものになっていくことが考えられる。そうした状況の中で、高齢者と家族を結ぶ役割として、子どもの存在が一層重要なものになるであろう。そこで次に、家族の中で子どもと祖父母の関心に焦点を当ててみていこう。

まず調査対象となった子どものうち、祖父母と同居している割合は28%であったが、その中で「あなたの家では祖父母を大切にしているか」という質問に対して、「とても大切にしている」が66%もあった(図22)。しかし巻

末の集計表で学年別にみると、72%、63%、61%と学年が進むほど「大切にしている」割合が減る傾向がみられる。なぜだろうか。

同様に「あなたは祖父母と話をするか」という問いに対して「とてもよくする」は45%であったが(図23)、これも集計表によると、学年が低いほど祖父母とよく話をしている傾向がみられる。また「母親と祖父母はとても仲良しである」と感じている子どもが7割近くを占めている(図24)。時に多少の波風は立っても、日本の高齢者は、おおむねその家族の中で、若い親たちと調和的に暮らしているようである。

図22 家で祖父母を大切にしているか (同居している子どものみ)

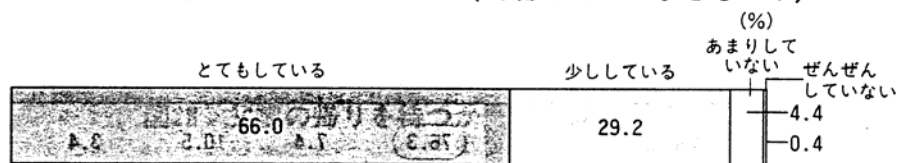


図23 祖父母と話をするか

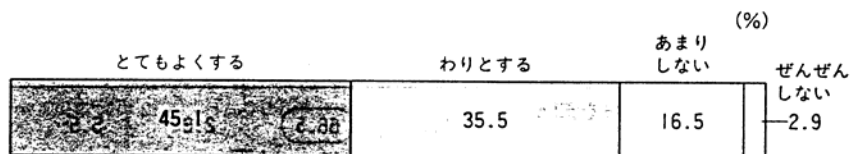
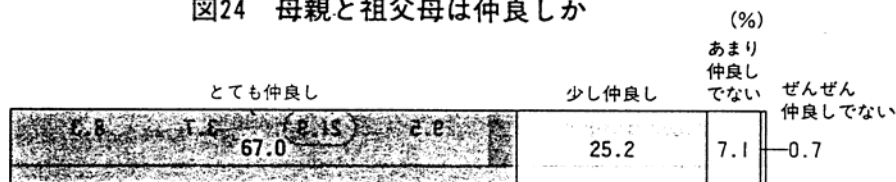


図24 母親と祖父母は仲良しか



❖❖❖ 家族のつきあい ❖❖❖

昔と比べると、近所づきあいが少なくなってきたといわれる。全体としては家族と地域とのつながりが疎遠になっている中で、子どもたちはそれをどう感じているのだろうか。

親戚とのつきあいや近所とのつきあいについて尋ねたところ(図25、図26)、子どもにと

っては近所より親戚とのつきあいのほうを、親たちがより密接にしているといっている。「遠くの親戚より近くの他人」という語は地域社会の暮らしが根のないものになってきている現状で、通用しなくなりつつあるのかもしれない。

図25 親戚と仲良しか

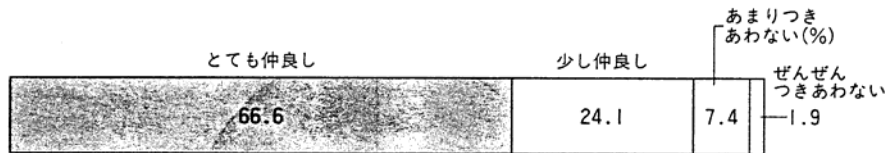
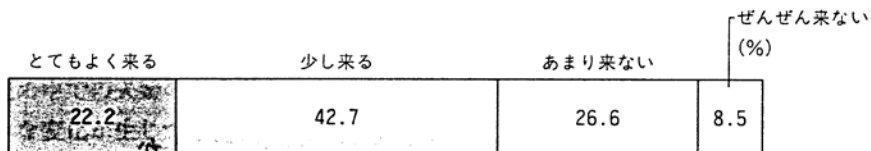


図26 近所の人がよく来るか



❖❖ 祖先崇拜 ❖❖

祖先を大切にすることは、かつての日本の家族の重要な役割であった。では、現代の家族はどうか。

まず家に仏壇がある家庭の子どもは、全体の3割しかなく、つまり親が日常的に祖先を崇める姿を見ることのない子どものほうが、圧倒的であることがわかる(図27)。また、お

彼岸やお盆の墓参りにについても、「家族全員そろって必ず行く」と答えたのは約半数で、「あまり誰も行かない」と答えた子どもも4割であった(図28)。祖先を崇拝するという態度がなくなってゆくことは時代の趨勢として、これでよいと考えるべきなのだろうか。

図27 家に仏壇があるか

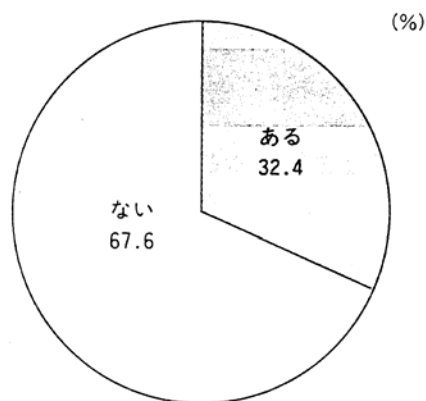
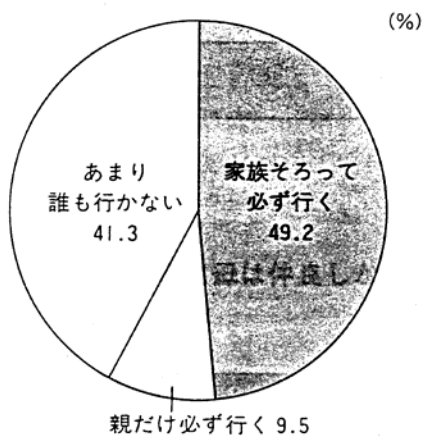


図28 お彼岸やお盆に墓参りに行くか



3. 親子関係



♣♣♣ 子どもからみた両親 ♣♣♣

一般に家庭の中での夫婦のあり方や家庭内地位にも大きな変化が生じつつあるといわれている。

では、子どもの目に映った両親の姿はどのようなものか。まず「お父さんとお母さんは仲良しですか」という問いに対して、「とても」「わりと」仲がよいと答えた子どもは全体の6割もあった(図29)。

逆に「お父さんとお母さんが口げんかをすることはあるか」に対して「しょっちゅうある」と「ときどきある」を合わせると2割であった(図30)。さらに学年別にみると、学年が進むにつれて両親の口げんかが多いと感じているようである。子どもの感じ方の変化なのか、それとも子どもの成長に伴って、親が子どもの前でがまんをしなくなるのら

うか。

また「両親のどちらが好きか」という問いに対しては、「どちらともいえない」が6割を占めているが、女子ではどちらかといえば母親が好きと答えた子どものほうが多かった(図31)。

図32は、男女別に「あなたの気持ちをいちばんよく知っている人」を表したものである。男女とも「母親」と答えた割合が高いが、特に女子にその傾向が強くみられる。「父親」と答えた割合は、女子は男子の半分にすぎなかった。

さらに「父親」と答えた割合を学年別・男女別にみると、図33にみられるように学年が上がるほど、少なくなってゆくことがわかるが、特に女子において、その傾向が著しい。

6年生の女子では、気持ちをいちばんよく知っている人が「父親」であると答えた割合が、わずか3%にすぎなかった。一方、「母親」と

答えた割合は、学年とほとんど関連がみられない。

図29 父親と母親は仲良しか

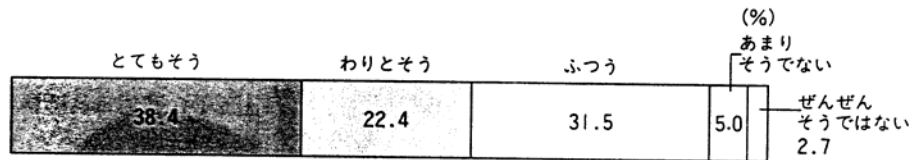


図30 父親と母親は口げんかするか

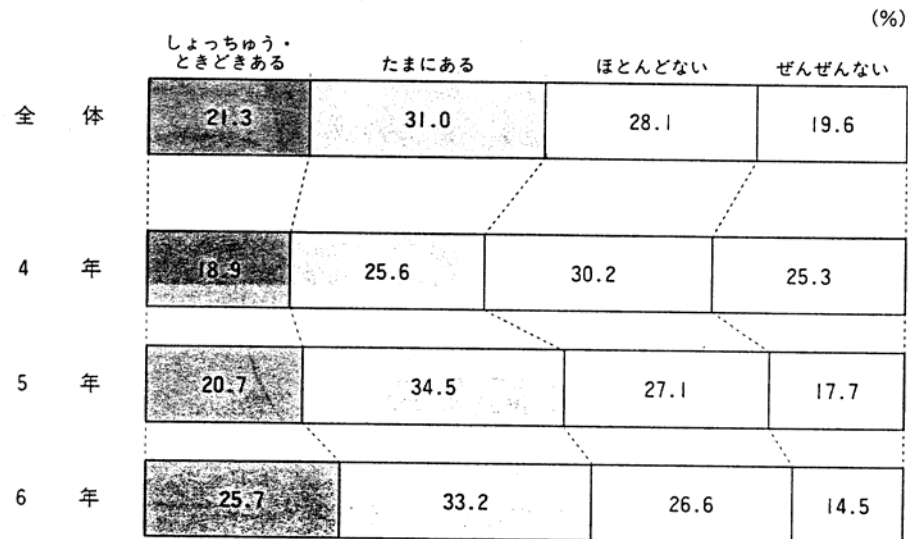


図31 父親と母親のどちらが好きか

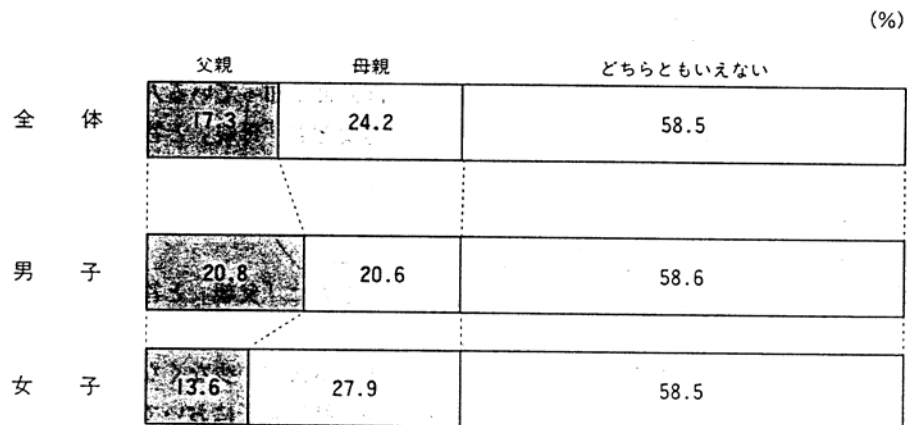


図32 家族の中で気持ちをいちばんよく知っている人

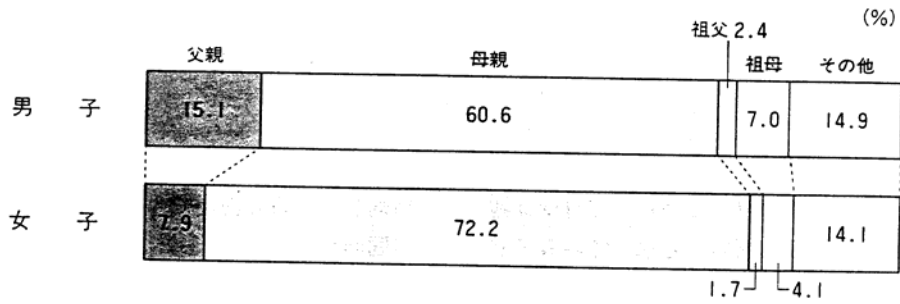
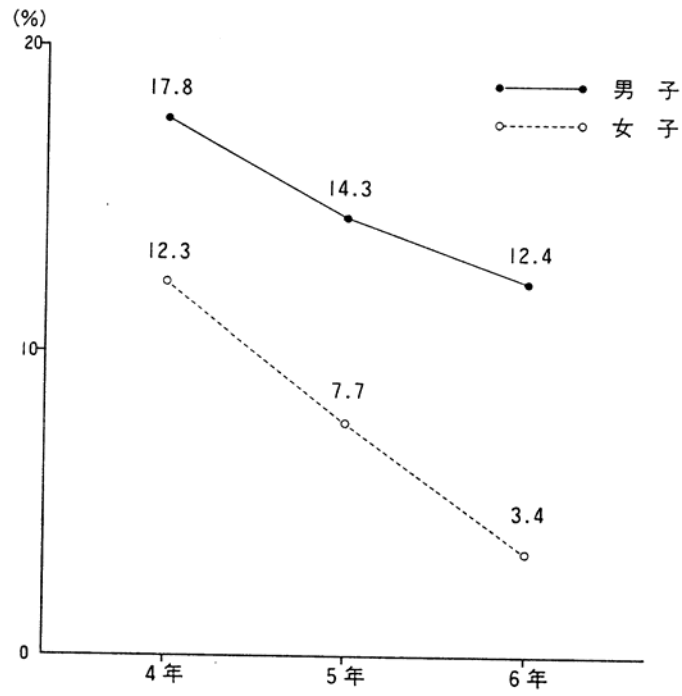


図33 「家族の中で気持ちをいちばんよく知っている人」が父親である割合



♣♣ 親の期待に対して ♣♣

子どもは、常に親の期待を背に受けて生きている。では、「親の思っているほど自分は勉強ができなくて親に悪い」と思っている子ども

はどれくらいだろうか。どの学年もだいたい同じくらいの割合で、全体の2割であった(図34)。

図34 親の思っているほど勉強ができなくて親に悪いと思う (%)

とてもあてはまる	わりとあてはまる	ふつう	あまりあてはまらない	ぜんぜんあてはまらない
10.8	13.6	37.8	18.0	19.8

♣♣ 親への反抗 ♣♣

第二反抗期のないまま、おとなになる若者が増えているといわれる。この年齢の子どもたちはどうか。「親に反抗することがある」と答えた子どもは約4割で、学年が進むにしたがって、その数も増えている(図35)。第二反抗期はその現れ方を弱めているかもしれないが、子どもの心の中には、多少とも親に対する態度の変化が存在しているものようである。しかし「家に帰るのがいやだと思うことがある」と感じている子どもは、「とても」「わりと」を合わせても2割であった(図36)。5人に1人は家に帰るのがいやだと感じる必要があるというこの数値は、多いとみるか、少ないとみるか。

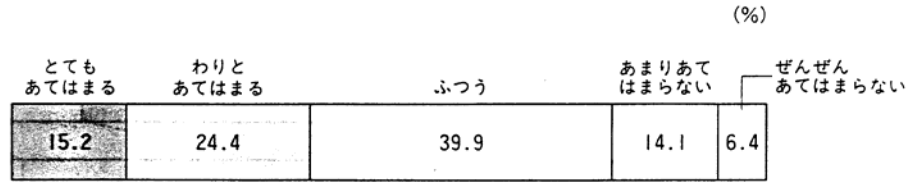
では、家に帰るのがいやだと、「とても」「わりと」感じている子ども(21%)を家庭に対する不適応群とし、「あまり」「ぜんぜん」感じていない子ども(61%)を適応群として、両者にはどのような違いがみられるのか比較してみよう。

両者を規定している要因はいくつか考えられるが、そのひとつに両親の関係があると思われる。図37は「父親と母親は仲良しか」という項目を帰宅に関する意識別にみると、適応群では68%が両親は仲がよいと感じているのに対して、不適応群のそれは43%と、両者に大きな差がみられる。また、両親の口げんかについても両者に大きな差がみられる。すなわち、両親の口げんかが「しょっちゅうある」「ときどきある」と感じている子どもは、適応群では16%であるのに対し、不適応群では37%もあった(図38)。

また、図39に示したように、不適応群は適応群に比べて、親に反抗することも多いようである。

さらに、両者の家庭の雰囲気と比較したのが図40である。不適応群の子どもは適応群の子どもに比べて、家庭の雰囲気をより否定的に感じている。特に「つまらない」「バラバラ」と感じている子どもが多いのが目をひく。

図35 親によく反抗する



「とても+わりとあてはまる」の割合×学年

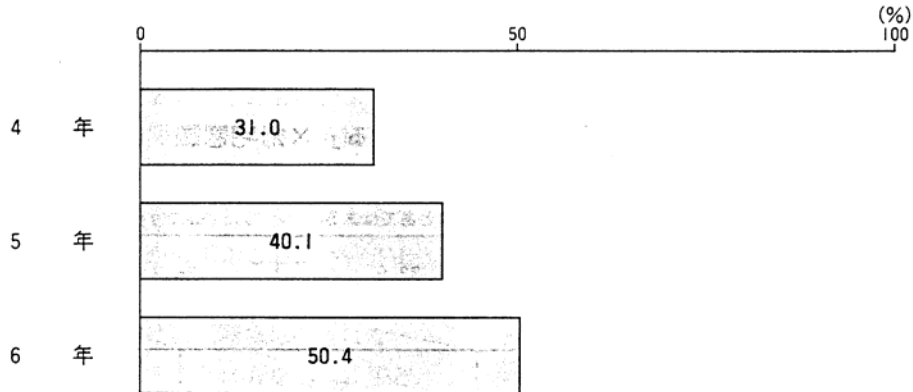


図36 家に帰るのがいやだと思うことがある

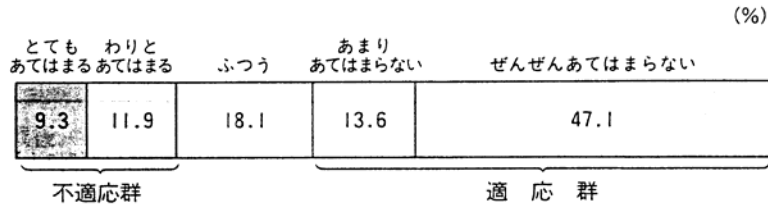


図37 「父親と母親は仲良しか」×帰宅意識

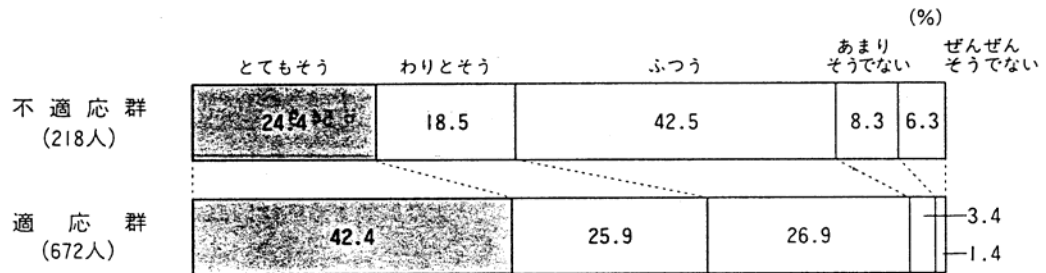


図38 「父親と母親は口げんかするか」×帰宅意識

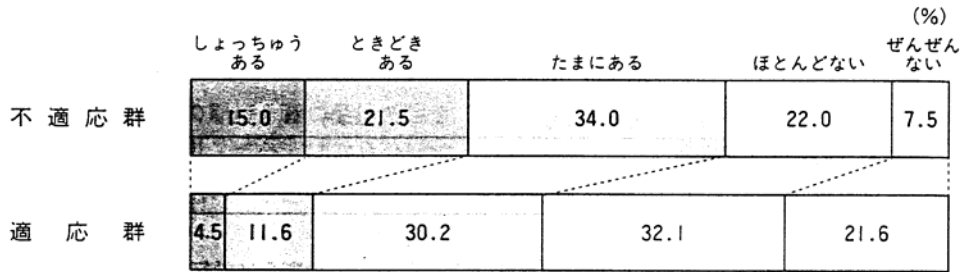


図39 「親に反抗することがある」×帰宅意識

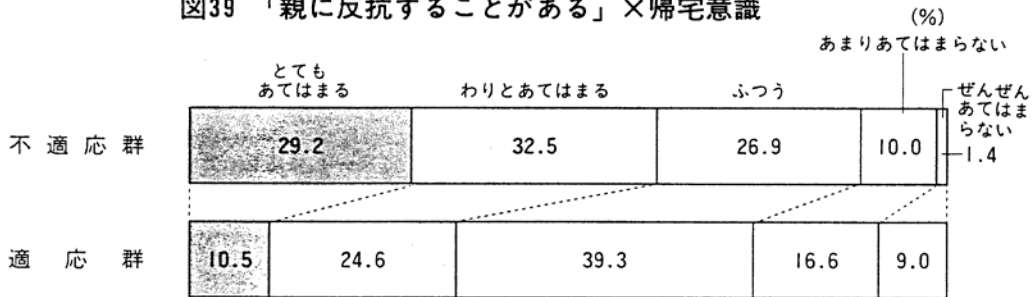
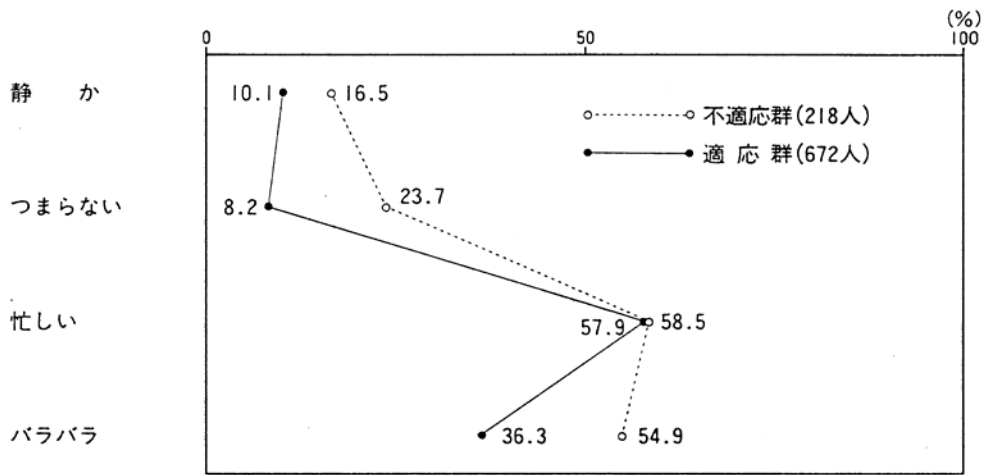


図40 家庭の雰囲気×帰宅意識



「とても・少し」の割合



まとめに代えて

家庭は、子どもにとって直接的経験のできる小社会、小世界である。子どもは、家族の中でいくつもの人間関係に始まり、人間の一生までを学習する。多様な立場の人が同じ屋根の下で多様な関係を展開し、多様に暮らすことによって、そこから学ぶことは多い。その意味では、きょうだいが多かったり、祖父母がいれば、それだけ人間関係は複雑になって、いやな部分を見ることにもなるが、子どもにとっては、より大きな教育力となって人間形成に大きな意味を与える。そうした繁多などろどろした場のほうが順応性があり、その環境に適應できる人間形成を生む。幼いうちからいろいろな種類と立場の人と出会うことは人間の幅を広げることにつながるであろう。

わが国は、戦後、奇跡的な経済成長をとげ、

経済的には他の国々を大きく抜いて豊かになったといわれる。しかし、生活が豊かになったと実感できない日本人も多い。その原因のひとつは、あわただしい日常生活にあるのではなかろうか。何歳になっても人は安定と精神的保護を求める。社会変化の著しい中で、安らぎの場としての家庭が築けるような、社会の援助や社会のシステムをつくる必要があるだろう。

全体的にみれば多くの家族は、おおむね幸せに暮らしている。しかしごく一部の、問題を持った家庭は深刻である。子どもは、家族を選ぶことができないのだから、不幸にして幸せな家族で子どもが育てられないときには、社会が様々な形で、これをサポートすることも必要であろう。

国際比較調査(2)から—その2 学業成績

放送大学客員教授

深谷昌志



成績に自信を持ってない

第2回目の国際比較調査の結果については「小学生ナウ」vol.10-9で概要を紹介した通りだが、昨年12月、東京と岡山でシンポジウムを開き、さまざまな立場の人からの声を聞くことができた。

そうした中で、専門家が注目したのは日本の子どもたちの自己評価、特に学業成績についての評価が低い事実だった。もう一度、手がかりとなるデータを示すと、図1の通りとなる。

シアトルやロスなど、アメリカの子の7割は「成績がよい」と自信を持っているのに、ソウルやタイペイなどNIESの子どもが成績に自信を持つ割合は2~3割にとどまっている。そして、東京の子はNIESよりもさらに低く、成績に自信のある子は「かなり」の14.0%を含めて18.3%にすぎない。

この図について、いくつかの解釈が可能であろう。とりあえず印象的なのは、シアトルやロスなど、学力の低さが問題になっている

地域の子どもたちが成績に自信を持っているのに対し、ソウルやタイペイなど、入試をめぐる状況がきびしく、熱心に勉強をしている地域の子どもたちのほうが自信を持ってないという事実であろう。

換言するなら、NIESや東京などは受験をめぐる状況がきびしく、少くとも成績がよくとも自信を持ってない。しかし、アメリカの子はのんびりと生活しているので、成績にあまりこだわりを抱かない。だから、それほどよくなくとも、まあまあの成績だと自己評価するのであろうか。

もちろん、この他にも、なにごとにつけ、自己主張をする欧米の文化圏と控え目を大事にする日本という文化の差を、図1の背景として感じることができる。しかし、東京に限らず、ソウルやタイペイの子どもたちの自信も低い。あらためてふれるまでもなく、ソウルやタイペイの文化が控え目とはいいいにくい。したがって、欧米とアジアとの文化の差を過大に評価するのは間違いであろう。

成績のよさがものをいう社会

見方によれば、成績に自信を持つ、持たないは、それだけなら、それほどの意味がないともいえよう。しかし、表1に示したようにロスやオークランドの子どもは、成績が悪くなったからといって、将来について、成績のよい子と同じような明るい見通しを抱いている。それに対し東京の子どもは、成績が下位になるにつれて、未来への見通しが暗さを増す。

しかも、こうした学業成績と未来像との関係は、「小学生ナウ」vol.10-9で紹介したようにほとんどすべての項目に認められる。

こうした子どもたちの心のうちを図化すると、以下のようになろう。

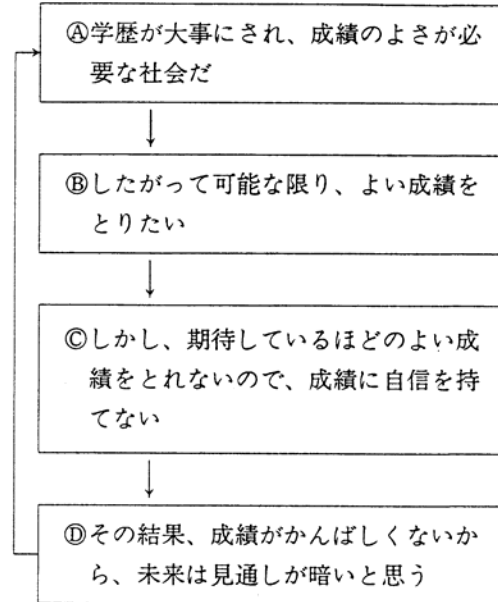
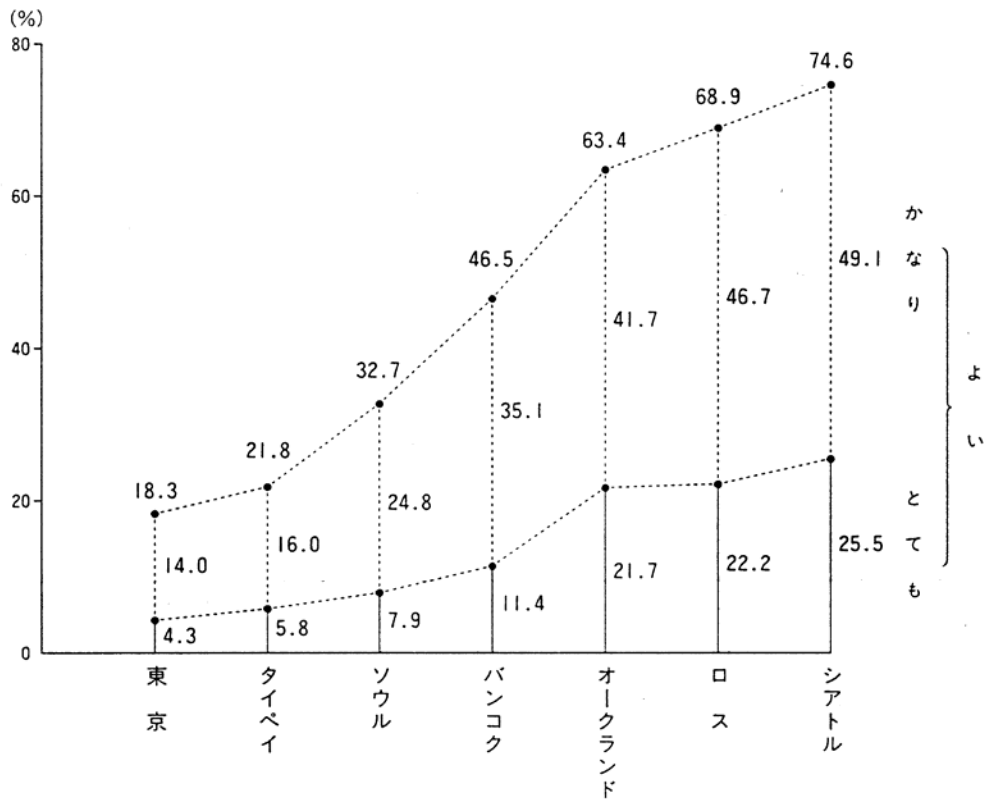


図1 成績のよい子の割合



④のように感じ、⑥のように望むので、③の段階で成績に自信を持てる者が少なくなる。そして、⑦の見通しが暗くなるという図式である。それに対し、アメリカの子どもは④のように感じていないので、⑥のようにあまり思わず、そして、ある程度の成績でも自信を失うことなく(③)、その結果、子どもの未来像も暗くないとなる。

そう考えてくると、子どもたちの目に学歴の効用ということは、成績のよさがものをいうと思う社会かどうか学業成績の自己評価に深くかかわりを持っているように思う。

自己評価との関連

もっとも、表2の通りに、「あなたはしあわせですか」の問いに、どの社会の子どもも成績のよい子のほうがしあわせと答える割合が高い。つまり、少なくとも、今回の調査を行ったような産業化された社会では、成績のよい子が望ましい。そして、そうした好ましさを身につけた自分はしあわせと、成績のよい子は思っているであろう。

しかし、成績についての自己評価を自己評価のその他の面とクロスさせてみると表3の

表1 将来の見通し×成績

(%)

自信を持っていない		よい		ふつう	よくない(B)	B/A
		とても(A)	かなり			
仕事で成功する人	東京	55.6	33.7	18.2	17.3	31.1
	バンコク	40.0	34.6	26.8	18.2	45.5
	ロス	80.0	70.1	64.8	61.5	76.9
	オークランド	76.6	63.2	50.0	67.6	88.3
しあわせな家庭	東京	67.3	55.4	37.4	28.7	42.6
	バンコク	60.0	60.8	55.5	50.0	83.3
	ロス	91.3	87.4	84.8	83.1	91.0
	オークランド	84.5	77.1	75.6	78.8	93.3

「きっとそうなる」割合

ような結果が得られる。この表は数値が入り組んでいるので解釈がむずかしいが、問題点を整理してみると、以下のように要約をすることが可能であろう。

① アメリカの子はスポーツのうまさや勇気があるについて、成績の下位の子のほうがそう思っている割合が多い。

② 日本の子どもは成績が下位になるにつれて、あらゆる面での自信が低下している。

③ オークランドやバンコクの子もたちも、学業成績が下位になるにつれて自己評価が低下する傾向が認められるが、そうした関連は、東京の子どもほど著しくない。

④ 全体として、「成績のよさ」と「よく働く」との間に強い関連が認められる。

したがって、どの社会でも成績のよさが望ましいのは確かだが、その他の社会では、望ましがそれほど決定的なほどに大きな重みを持たない。特にアメリカでは、成績の良し

悪しの他に、スポーツのうまさや勇気などの尺度があるのが感じられる。

そうなれば、成績に自信を持ってなくとも、その他の面で自信を抱ければ、自分だって十分にやっつけていけるというような気持ちになれる。

それぞれの個性に応じて子どもたちが自己を実現できる社会とは、複眼の見方のできるのを意味するのであろう。そうした見方からすると、日本は学業成績のよさが、他の社会よりも大きな重みを持つ単眼の社会のように考えられる。

小学校時代の学業成績などは長い人生の中でそれほどの意味を持たないのに、子どもたちは成績神話のようなイメージを抱いている。そうした感覚を打破しない限り、これまでふれてきたような自己評価の低さは回復しないように思われてならない。

表2 しあわせ感×成績

(%)

	とてもよい (A)	かなりよい (B)	ふつう (C)	C/A
東京	62.3	47.2	46.0	73.8
ロス	41.3	36.4	23.3	56.4
オークランド	57.3	39.4	29.3	51.1
バンコク	61.1	60.4	49.2	80.5

「とてもしあわせ」の割合

表3 自己評価×成績

(%)

		とてもよい (A)	かなりよい (B)	ふつう (C)	C/A
スポーツのうまい子	東 京	43.6	21.2	17.3	39.7
	ロ ス	28.8	42.4	46.2	160.4
	オークランド	47.7	38.4	29.3	61.4
	バンコク	28.7	25.9	25.9	90.2
人気のある子	東 京	30.9	10.7	6.4	20.7
	ロ ス	33.8	29.3	27.8	82.2
	オークランド	46.6	27.6	20.0	42.9
	バンコク	66.0	61.6	51.3	77.7
正直な子	東 京	29.1	14.5	8.3	28.5
	ロ ス	38.8	39.1	32.6	84.0
	オークランド	48.6	30.3	27.9	57.4
	バンコク	69.1	53.2	39.7	57.5
よく働く子	東 京	40.0	18.4	13.9	34.8
	ロ ス	62.5	33.9	23.7	37.9
	オークランド	66.2	30.3	18.1	27.3
	バンコク	49.5	31.5	20.0	40.4
勇気のある子	東 京	40.0	20.8	17.3	43.3
	ロ ス	26.3	31.7	38.7	147.1
	オークランド	44.7	33.0	32.8	73.4
	バンコク	33.7	30.3	23.4	69.4



これはテストではありません。日本の子どもたちにたくさんおねがいで、その生活をしらべるためのものです。思ったことをそのまま答えてください。

やりかたの練習

あなたはカレーライスが好きですか？

とても 好き	かなり 好き	ふつう	すこし きらい	とても きらい
1	②	3	4	5

あなたがもしカレーライスを かなり好き だと思ったら
上のように番号のところを○でかこんでください。

① まず、あなたのことを教えてください。

- ① 学校の名まえ…… () 小学校
- ② 学年……(1) 4年 (2) 5年 (3) 6年 <○でかこむ>
- ③ 男女……(1) 男 (2) 女 <○でかこむ>
- ④ あなたの家族は…… () 人
きょうだいは、あなたもいれて…… () 人
- ⑤ お父さんのお仕事は。(いない人はとばしてください。)
1. 会社に行っている
 2. お店につとめている
 3. お店をしている
 4. こうむいん、先生
 5. そのほか (1～4いがい)
- ⑥ お母さんのお仕事は。(いない人はとばしてください。)
1. 家にいる
 2. パートではたらいている
 3. 毎日、外へはたらきにいらっている
 4. お父さんとお店をしている
 5. そのほか (1～4いがい)

⑦ あなたは、もっときょうだいがほしいですか。

1. 今のままでいい

2. もっとほしい

3. もっとすくないほうがいい

→ ぜんぶで、何人きょうだいだったらいと思いますか。

あなたもいれて…… () 人

⑧ 家におじいさん、おばあさんがいたほうがいいと思いますか。

いたほうがいい どちらでもいい いないほうがいい

1 ————— 2 ————— 3

⑨ お母さんは、お仕事をもっているほうがいいですか。それとも、せんぎょうしゅふ（ずっと家において、家事をしている人）のほうがいいですか。

仕事をもっているほう どちらでも せんぎょうしゅふが
がいい いい いい

1 ————— 2 ————— 3

② ふだんの日のあなたの家のことを教えてください。

① 朝ごはんは、いつもだれと食べますか。

1. たいてい家族全員で

2. お父さんがいないけれど、あとは全員で

3. 子どもたちだけで

4. 自分1人で

5. そのほか（1～4がいい）

② 夕ごはんは、だれと食べますか。

1. たいてい家族全員で

2. お父さんがいないけれど、あとは全員で

3. 子どもたちだけで

4. 自分1人で

5. そのほか（1～4がいい）

③ ごはんを、よそうじゅん番が、きまっていますか。

1. きまっていない
2. だいたいお父さんから
3. だいたい子どもから
4. そのほか (1~3 以外)

④ お父さんの帰りがおそくなったとき、どれくらいだったら、ごはんを食べないで、まっていますか。

1. 30分くらい
2. 1時間くらい
3. 2時間くらいか、それ以上いじょう
4. まっていない

⑤ ごはんやおかずがくばられたら。

1. みんなそろってから食べはじめる
2. ばらばらに、よそったじゅん番にすぐ食べはじめる
3. そのほか (1~2 以外)

③ あなたの家では、おひがんやおぼんにおはかまいりに行きますか。

1. 親だけ、かならず行く
2. 家族かぞくそろって、かならず行く
3. あまり、だれも行かない (ときどき行くくらい)

④ 家にぶつだんはありますか。

1. ある
2. ない

⑤ あなたの家は、どんな感じの家ですか。

① しずかな家ですか、にぎやかな家ですか。

とても しずか	すこし しずか	すこし にぎやか	とても にぎやか
1	2	3	4

② たのしい家ですか、つまらない家ですか。

とても たのしい	すこし たのしい	すこし つまらない	とても つまらない
1	2	3	4

③ のんびりした家ですか、いそがしい家ですか。

とても のんびり	すこし のんびり	すこし いそがしい	とても いそがしい
1	2	3	4

④ バラバラですか、まとまっていますか。

とても バラバラ	すこし バラバラ	すこし まとまっています	とても まとまっています
1	2	3	4

⑤ あなたの家は、しんせきの人となかよしですか。

とても なかよし	すこし なかよし	あまり つきあわない	ぜんぜん つきあわない
1	2	3	4

⑥ あなたの家には、近所の人がよくきますか。

とてもよく くる	すこし くる	あまり こない	ぜんぜん こない
1	2	3	4

⑦ あなたの家に、おじいさん（おばあさん）がいっしょにすんでいる人だけ答えてください。（いっしょにすんでいない人はとばしてください。）

1) あなたの家では、おじいさん（おばあさん）をだいにしていますか。

とてもだいに している	すこし だいにしている	あまり だいに していない	ぜんぜん だいに していない
1	2	3	4

2) お母さん（いない人はとばしてください）とおじいさん（おばあさん）はなかよしですか。

とても なかよし	すこし なかよし	あまり なかよしでない	ぜんぜん なかよしでない
1	2	3	4

3) あなたは、おじいさん（おばあさん）とよくおしゃべりをしますか。

とてもよく する	わりと する	あまり しない	ぜんぜん しない
1	2	3	4

⑧ あなたの家で、つぎの人はだれですか。

- | | お父さん | お母さん | おじいさん | おばあさん | そのほか |
|---------------------------------------|------|------|-------|-------|-------------|
| 1) いちばん、ものし
りなのは…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| | | | | | だれですか ↓ () |
| 2) いちばん、こと
を言うのは…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| | | | | | ↓ () |
| 3) いちばん、やさし
いのは…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| | | | | | ↓ () |
| 4) いちばん、えらい
のは…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| | | | | | ↓ () |
| 5) いちばん、いばっ
ているのは…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| | | | | | ↓ () |
| 6) いちばん、えんり
よしているのは……… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| | | | | | ↓ () |
| 7) いちばん、かわい
そうなのは…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| | | | | | ↓ () |
| 8) あなたのほしいも
のをよく買って
れるのは…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| | | | | | ↓ () |
| 9) あなたの気持ちを
いちばんよく知っ
ているのは…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| | | | | | ↓ () |

⑨ お父さん、お母さんのことについてききます。(1人しかいない人はとばしてください。)

1) お父さんとお母さんは、なかがよいですか。

- | とても
そう | わりと
そう | ふつう | あまり
そうでない | ぜんぜん
そうでない |
|-----------|-----------|-----|--------------|---------------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

2) あなたは、お父さんとお母さんのどちらが好きですか。

1. どちらかといえば、お父さん
2. どちらかといえば、お母さん
3. どちらともいえない

3) もしお母さんが、かぜをひいて高い熱をだしてねていたら、夕ごはんはどうするでしょう。いちばんあてはまりそうなところに○を1つつけてください。

1. お父さんがつくる
2. お父さんが外のお店へつれていって来て食べる
3. 出前をとるか、何か買ってくる
4. おばあさんがつくる
5. 子どもがつくる
6. お母さんがむりしておきてつくる

4) では、部屋のそうじはどうするでしょう。

1. お父さんがそうじする
2. 子どもがする
3. おばあさん（おじいさん）がする
4. 2、3日なら、そうじしないている

5) お父さん、お母さんが口げんかすることはありますか。

しょっちゅうある ときどきある たまにある ほとんどない ぜんぜんない
 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4 ————— 5

6) あなたの部屋のことを教えてください。

- ① 勉強部屋は……………
自分だけの部屋がある きょうだいといっしょ ない
 1 ————— 2 ————— 3
- ② 勉強部屋にテレビが……………
ある ない
 1 ————— 2
- ③ あなたの勉強机に「おかし」をいれておくことが……………
よくある ときどきある ほとんどない
 1 ————— 2 ————— 3
- ④ 1人で、部屋で「おかし」を食べることが……………
よくある ときどきある ほとんどない
 1 ————— 2 ————— 3

⑤ 夜、ねるときの部屋は

1. 1人でねる
2. きょうだいといっしょにねる
3. お父さんや、お母さんといっしょにねる
4. そのほか(1~3以外)

⑦ あなたは、自分がどんな子どもだと思いますか。あてはまるところに○をつけてください。

- | | | とても
あてはまる | わりと
あてはまる | ふつう | あまり
あてはまらない | ぜんぜん
あてはまらない | | | |
|------------------------------------|---|--------------|--------------|------|----------------|-----------------|---|------|---|
| ① 親によく、はんこうする
(いうことをきかない) …………… | 1 | ———— | 2 | ———— | 3 | ———— | 4 | ———— | 5 |
| ② 親のいうことをよくまもって
いる…………… | 1 | ———— | 2 | ———— | 3 | ———— | 4 | ———— | 5 |
| ③ 親の思っているほど勉強がで
きなくて、親にわるいと思う… | 1 | ———— | 2 | ———— | 3 | ———— | 4 | ———— | 5 |
| ④ 家に帰るのが、いやだと思
うことがある…………… | 1 | ———— | 2 | ———— | 3 | ———— | 4 | ———— | 5 |

〈これで終わりです。どうもありがとう。〉

● 資料2 学年・性別集計表

単位：サンプル数以外はパーセント

質問項目			全体	性別		学年別			
				男子	女子	4年	5年	6年	
①	サンプル数	学年							
		性別							
		4年	352	193	159				
		5年	361	174	187				
		6年	262	126	136				
		男子	493						
		女子	482						
①	あな な た の こ と	家族 の 人 数	1. 2人	1.1	1.2	1.0	1.1	0.6	1.9
			2. 3人	7.9	6.7	9.1	8.0	9.7	5.3
			3. 4人	44.8	44.2	45.4	45.5	42.7	46.5
			4. 5人	27.8	29.4	26.1	27.8	28.5	26.7
			5. 6人	12.0	11.8	12.2	11.9	13.0	10.7
			6. 7人	5.4	5.1	5.8	4.8	4.7	7.3
			7. 8人以上	1.0	1.6	0.4	0.9	0.8	1.6
		き よ う だ い 数	1. 1人	7.3	6.6	8.1	7.2	7.8	6.9
			2. 2人	58.3	56.0	60.4	60.1	56.1	58.5
			3. 3人	28.6	31.0	26.1	30.1	28.3	26.9
			4. 4人	4.2	3.9	4.6	1.4	6.4	5.0
			5. 5人以上	1.6	2.5	0.8	1.2	1.4	2.7
		父 親 の 仕 事	1. 会社に行っている	57.7	58.6	57.1	59.0	57.0	57.4
			2. お店に勤めている	5.0	6.1	3.8	5.7	4.8	4.1
			3. お店をしている	8.6	7.5	9.7	6.9	8.4	11.2
			4. 公務員、先生	14.8	14.9	14.6	15.1	15.8	12.8
			5. その他	13.9	12.9	14.8	13.3	14.0	14.5
		状 況 母 親 の 就 業	1. 家にいる	49.7	51.9	47.4	56.5	48.9	41.7
			2. パートで働いている	15.5	13.6	17.4	13.3	15.9	17.8
			3. 毎日、外へ働きにいつている	17.6	17.7	17.6	16.3	17.9	19.0
			4. お父さんとお店をしている	6.2	5.8	6.5	4.8	7.2	6.5
			5. その他	11.0	11.0	11.1	9.1	10.1	15.0
		し う だ い が ほ い か	1. 今のままでいい	52.4	54.1	50.6	50.1	51.7	56.4
			2. もっとほしい	37.7	33.7	41.8	41.2	38.0	32.7
			3. もっと少ないほうがいい	9.9	12.2	7.6	8.7	10.3	10.9
		何 人 き よ う だ い が い い か	1. 1人	12.1	16.2	8.2	10.7	11.9	14.3
			2. 2人	13.4	12.5	14.2	10.1	15.5	15.2
3. 3人	40.5		32.9	47.3	39.3	39.3	43.6		
4. 4人	21.9		21.8	22.0	23.8	22.6	17.9		
5. 5人	7.1		8.8	5.6	9.5	6.5	4.5		
6. 6人	2.2		3.7	0.9	3.0	1.8	1.8		
7. 7人	0.9		0.9	0.9	1.2	0.0	1.8		
8. 8人	1.1		2.3	0.0	1.8	0.6	0.9		
9. 10人	0.4		0.0	0.9	0.6	0.6	0.0		
10. 12人	0.4		0.9	0.0	0.0	1.2	0.0		
祖 父 母	1. いたほうがいい	60.0	62.1	58.0	64.4	60.9	53.1		
	2. どちらでもいい	33.9	31.2	36.6	31.9	32.4	38.5		
	3. いないほうがいい	6.1	6.7	5.4	3.7	6.7	8.4		
仕 母 親 の	1. 仕事を持っているほうがいい	18.8	21.6	15.8	17.8	19.8	18.7		
	2. どちらでもいい	34.6	34.7	34.6	28.7	34.3	43.1		
	3. 専業主婦がいい	46.6	43.7	49.6	53.5	45.9	38.2		
② こ あ な た の 家 の と 食 べ る か	1. 家族全員で	35.3	39.5	31.0	35.9	32.4	38.3		
	2. お父さん以外の全員で	23.3	24.1	22.5	22.8	24.9	21.8		
	3. 子どもだけで	13.0	10.0	16.0	12.8	14.0	11.9		
	4. 1人で	11.5	11.9	11.2	11.1	10.3	13.8		
	5. その他	16.9	14.5	19.3	17.4	18.4	14.2		

質問項目		全体	性別		学年別				
			男子	女子	4年	5年	6年		
②	あなたの家のこと	夕ごはんは誰と食べるか	1. 家族全員で	42.1	42.2	41.9	44.4	39.0	43.1
			2. お父さん以外の全員で	42.2	42.7	41.9	42.2	44.1	40.0
			3. 子どもだけで	2.6	2.7	2.5	2.8	2.2	2.7
			4. 1人で	1.9	2.4	1.3	0.6	0.8	5.0
			5. その他	11.2	10.0	12.4	10.0	13.9	9.2
		そう順番をよ	1. 決まっていない	70.5	74.5	66.3	67.5	68.4	77.4
			2. お父さんから	11.5	9.0	14.0	12.1	10.8	11.5
			3. 子どもから	13.7	12.0	15.5	16.7	15.0	8.0
			4. その他	4.3	4.5	4.2	3.7	5.8	3.1
		を父親の帰りを待つ	1. 30分くらい	19.6	20.5	18.7	21.5	18.6	18.4
			2. 1時間くらい	12.5	10.1	14.8	8.8	14.2	14.8
			3. 2時間くらいか、それ以上	4.7	4.7	4.7	4.4	4.9	4.7
			4. 待たない	63.2	64.7	61.8	65.3	62.3	62.1
		方食べはじめ	1. みんなそろってから	52.7	50.8	54.6	55.1	48.4	55.3
			2. ばらばらに、よそった順に	39.4	39.2	39.6	36.0	42.2	40.1
		3. その他	7.9	10.0	5.8	8.9	9.4	4.6	
③	くりお墓参りに行くか	1. 親だけ必ず行く	9.5	11.5	7.5	6.7	8.6	14.5	
		2. 家族そろって、必ず行く	49.2	45.4	53.1	50.9	49.4	46.7	
		3. あまり、誰も行かない	41.3	43.1	39.4	42.4	42.0	38.8	
④	る壇が家にあるか	1. ある	32.4	34.6	30.2	33.2	30.4	34.2	
		2. ない	67.6	65.4	69.8	66.8	69.6	65.8	
⑤	どんな感じの家か	ぎやかか、に	1. とても静か	2.2	3.3	1.0	2.0	2.2	2.3
			2. 少し静か	9.0	10.0	7.9	7.7	7.2	13.0
			3. 少しにぎやか	37.5	38.0	37.1	36.9	31.8	46.4
			4. とてもにぎやか	51.3	48.7	54.0	53.4	58.8	38.3
	楽しいか、つまらないか	1. とても楽しい	54.2	50.6	57.9	60.1	56.7	42.9	
		2. 少し楽しい	33.3	33.3	33.3	30.2	29.6	42.5	
		3. 少しつまらない	8.8	10.6	6.9	6.0	9.5	11.5	
		4. とてもつまらない	3.7	5.5	1.9	3.7	4.2	3.1	
	のんびりしているか、忙しいか	1. とてものんびり	7.1	8.6	5.6	6.9	6.4	8.5	
		2. 少しのんびり	33.6	30.0	37.4	28.9	33.1	40.8	
		3. 少し忙しい	45.1	44.7	45.3	45.9	45.8	42.6	
		4. とても忙しい	14.2	16.7	11.7	18.3	14.7	8.1	
	まったりしているか	1. とてもバラバラ	8.7	11.1	6.3	11.3	9.2	4.6	
		2. 少しバラバラ	32.6	32.9	32.4	30.1	35.7	31.9	
		3. 少しまとまっている	43.3	39.4	47.1	43.9	39.8	47.0	
		4. とてもまとまっている	15.4	16.6	14.2	14.7	15.3	16.5	
	つきあいが	良しか仲	1. とても仲良し	66.6	67.3	65.8	70.0	65.3	63.7
			2. 少し仲良し	24.1	21.9	26.4	19.9	26.0	27.1
			3. あまりつきあわない	7.4	8.6	6.3	8.4	6.7	7.3
			4. ぜんぜんつきあわない	1.9	2.2	1.5	1.7	2.0	1.9
よく来るか	近所の人	1. とてもよく来る	22.2	22.3	22.1	19.1	23.7	24.2	
		2. 少し来る	42.7	42.3	43.1	40.6	40.9	48.0	
		3. あまり来ない	26.6	25.6	27.7	29.7	27.9	20.9	
		4. ぜんぜん来ない	8.5	9.8	7.1	10.6	7.5	6.9	
関係父母との	祖父母を大事にしているか	1. とても大事にしている	66.0	63.8	68.4	72.0	63.3	61.2	
		2. 少し大事にしている	29.2	30.6	27.7	22.4	35.6	31.3	
		3. あまり大事にしていない	4.4	5.6	3.1	4.7	1.1	7.5	
		4. ぜんぜん大事にしていない	0.4	0.0	0.8	0.9	0.0	0.0	

● 資料2 学年・性別集計表

質問項目		全 体	性 別		学 年 別				
			男 子	女 子	4 年	5 年	6 年		
5	祖父母との関係	は母親と祖父 は仲良しか	1. とても仲良し	67.0	66.0	67.9	67.9	63.8	69.4
			2. 少し仲良し	25.2	27.5	22.9	25.1	29.2	20.7
			3. あまり仲良しでない	7.1	6.0	8.3	6.4	6.3	9.1
			4. ぜんぜん仲良しでない	0.7	0.5	0.9	0.6	0.7	0.8
		を祖父 父母と話 するか	1. とてもよくする	45.1	42.2	48.2	52.0	44.4	36.3
			2. わりとする	35.5	35.8	35.1	28.2	37.3	43.6
			3. あまりしない	16.5	17.7	15.3	16.4	15.0	18.5
			4. ぜんぜんしない	2.9	4.3	1.4	3.4	3.3	1.6
家 族 の 中 で あ ら ま る 人	もの しり ん	1. お父さん	62.4	60.3	64.7	61.4	62.2	64.2	
		2. お母さん	17.1	17.1	17.1	14.7	18.6	18.1	
		3. おじいさん	7.4	7.9	6.9	8.9	6.3	7.0	
		4. おばあさん	6.1	7.7	4.4	8.6	3.9	5.8	
		5. その他	7.0	7.0	6.9	6.4	9.0	4.9	
	と を 言 う	1. お父さん	16.0	18.3	13.6	16.0	14.3	18.3	
		2. お母さん	57.1	53.8	60.6	50.0	60.0	62.1	
		3. おじいさん	2.1	2.4	1.7	2.8	1.9	1.3	
		4. おばあさん	5.0	5.3	4.6	5.3	4.1	5.7	
		5. その他	19.8	20.2	19.5	25.9	19.7	12.6	
	や さ し い	1. お父さん	27.0	26.0	28.1	29.7	27.2	23.2	
		2. お母さん	39.7	36.5	42.8	36.6	41.5	41.2	
		3. おじいさん	6.5	8.4	4.6	8.6	4.4	6.6	
		4. おばあさん	19.1	20.7	17.5	18.8	18.7	20.2	
		5. その他	7.7	8.4	7.0	6.3	8.2	8.8	
	え ら い ん	1. お父さん	76.3	75.8	76.9	71.4	77.9	80.6	
		2. お母さん	7.4	6.6	8.2	5.9	8.9	7.3	
		3. おじいさん	10.5	10.7	10.2	14.3	7.8	9.3	
		4. おばあさん	3.4	3.9	2.9	4.7	3.7	1.2	
		5. その他	2.4	3.0	1.8	3.7	1.7	1.6	
つ て い る	1. お父さん	39.2	42.3	35.9	31.9	38.6	48.8		
	2. お母さん	12.2	11.1	13.3	12.8	12.7	10.7		
	3. おじいさん	2.7	2.4	3.0	2.6	2.9	2.5		
	4. おばあさん	1.1	1.1	1.1	0.9	0.3	2.5		
	5. その他	44.8	43.1	46.7	51.8	45.5	35.5		
し て い る 遠 慮	1. お父さん	9.9	9.7	10.1	10.1	11.7	7.1		
	2. お母さん	35.0	34.4	35.6	39.8	32.3	32.3		
	3. おじいさん	5.0	5.1	4.8	4.9	4.7	5.6		
	4. おばあさん	13.6	13.8	13.3	15.7	10.3	15.7		
	5. その他	36.5	37.0	36.2	29.5	41.0	39.3		
い そ う か わ	1. お父さん	9.5	8.8	10.2	9.1	10.0	9.2		
	2. お母さん	21.9	18.2	25.7	24.6	14.3	29.9		
	3. おじいさん	3.7	4.8	2.6	3.4	3.9	3.8		
	4. おばあさん	8.3	9.7	7.0	10.3	6.8	8.2		
	5. その他	56.6	58.5	54.5	52.6	65.0	48.9		
ほ し い も の を よ く 買 っ て く れ る	1. お父さん	35.9	34.6	37.3	33.2	37.8	36.5		
	2. お母さん	24.5	21.6	27.4	22.3	23.8	28.4		
	3. おじいさん	9.5	11.8	7.2	11.6	9.0	7.6		
	4. おばあさん	20.6	19.5	21.6	23.3	20.1	17.8		
	5. その他	9.5	12.5	6.5	9.6	9.3	9.7		

質問項目		全 体	性 別		学 年 別				
			男 子	女 子	4 年	5 年	6 年		
⑤	家族の中であ 知つてい る	1. お父さん	11.5	15.1	7.9	15.3	10.9	7.6	
		2. お母さん	66.5	60.6	72.2	65.5	65.8	68.3	
		3. おじいちゃん	2.0	2.4	1.7	2.8	1.2	2.2	
		4. おばあちゃん	5.5	7.0	4.1	6.3	5.3	4.9	
		5. その他	14.5	14.9	14.1	10.1	16.8	17.0	
	父母につ いて	いか 父母は 仲がよ い	1. とてもそう	38.4	38.4	38.3	44.0	35.1	35.1
			2. わりとそう	22.4	19.9	24.9	18.1	23.5	26.9
			3. ふつう	31.5	33.2	29.8	30.7	32.3	31.4
			4. あまりそうでない	5.0	4.6	5.5	3.3	6.5	5.4
			5. ぜんぜんそうでない	2.7	3.9	1.5	3.9	2.6	1.2
	母親が病 気のとき 誰がする か	ま ち ら が 好 ま い	1. どちらかといえば、お父さん	17.3	20.8	13.6	17.1	17.5	17.2
			2. どちらかといえば、お母さん	24.2	20.6	27.9	22.9	21.1	30.3
			3. どちらともいえない	58.5	58.6	58.5	60.0	61.4	52.5
	母親が病 気のとき 誰がする か	タ ニ は ん	1. お父さんがつくる	29.2	29.5	28.9	31.3	27.3	29.1
			2. お父さんがお店へ連れていってくれる	3.8	3.0	4.6	4.2	3.2	4.0
			3. 出前をとるか何か買ってくる	22.4	27.4	17.2	22.9	20.3	24.6
			4. おばあさんがつくる	14.0	13.5	14.5	14.6	13.1	14.5
			5. 子どもがつくる	23.9	18.6	29.5	19.6	29.4	22.2
	母親が病 気のとき 誰がする か	そ う じ	1. お父さんがそうにする	15.6	18.1	13.0	21.6	14.0	9.5
			2. 子どもがする	56.4	47.7	65.4	48.0	58.0	66.1
			3. おばあさん(おじいさん)がする	7.5	8.1	6.8	8.8	6.7	6.6
			4. そうじしない	20.5	26.1	14.8	21.6	21.3	17.8
	げんか の口	父 母 の 口	1. しょっちゅうある	7.7	7.6	7.9	6.2	8.0	9.5
			2. ときどきある	13.6	13.9	13.3	12.7	12.7	16.2
			3. たまにある	31.0	32.4	29.5	25.6	34.5	33.2
4. ほとんどない			28.1	26.5	29.7	30.2	27.1	26.6	
5. ぜんぜんない			19.6	19.6	19.6	25.3	17.7	14.5	
⑥	あ な た の 部 屋	子 ど も 部 屋 の 所 有 状 況	1. 自分だけの部屋がある	31.5	29.4	33.5	32.0	29.1	34.0
			2. きょうだいと一緒に	52.4	53.2	51.6	51.4	55.5	49.4
			3. ない	16.1	17.4	14.9	16.6	15.4	16.6
	部 屋 に テ レ ビ を 入 れ る	子 ど も 部 屋 に	1. ある	31.7	36.8	26.5	33.2	28.7	34.0
			2. ない	68.3	63.2	73.5	66.8	71.3	66.0
			1. よくある	12.9	12.6	13.2	11.2	12.8	15.2
	部 屋 を 入 れ る	机 に お 菓 子 を 入 れ る	2. ときどきある	28.2	23.2	33.2	27.0	28.8	28.9
			3. ほとんどない	58.9	64.2	53.6	61.8	58.4	55.9
			1. よくある	24.7	25.9	23.5	22.3	24.3	28.7
	部 屋 を 食 べ る	部 屋 で お 菓 子 を 食 べ る	2. ときどきある	37.1	36.7	37.4	32.9	37.4	42.2
			3. ほとんどない	38.2	37.4	39.1	44.8	38.3	29.1
			1. 一人で寝る	30.7	33.1	28.2	28.8	28.3	36.4
部 屋 を 寝 る と き の	寝 る と き の	2. きょうだいと一緒に	38.8	41.3	36.3	36.6	40.9	38.8	
		3. お父さんやお母さんと一緒に	19.5	15.5	23.6	23.1	18.5	16.3	
		4. その他	11.0	10.1	11.9	11.5	12.3	8.5	
		1. とてもあてはまる	15.2	18.4	11.8	15.5	15.3	14.6	
⑦	自 分 に つ い て	反 抗 す る 親 に よ く	2. わりとあてはまる	24.4	22.5	26.4	15.5	24.8	35.8
			3. ふつう	39.9	38.0	41.8	41.9	40.7	35.7
			4. あまりあてはまらない	14.1	13.9	14.3	17.2	13.6	10.8
			5. ぜんぜんあてはまらない	6.4	7.2	5.7	9.9	5.6	3.1

● 資料2 学年・性別集計表

質問項目		全 体	性 別		学 年 別			
			男 子	女 子	4 年	5 年	6 年	
7	を親の言うことをよく守る	1. とてもあてはまる	6.5	7.6	5.3	10.1	5.3	3.1
		2. わりとあてはまる	16.6	16.5	16.6	16.8	15.1	18.3
		3. ふつう	48.0	42.2	54.1	47.4	48.8	48.3
		4. あまりあてはまらない	22.0	25.2	18.7	19.1	23.0	24.5
		5. ぜんぜんあてはまらない	6.9	8.5	5.3	6.6	7.8	5.8
	く勉強が得意で親に悪い	1. とてもあてはまる	10.8	12.7	8.9	14.1	9.0	8.8
		2. わりとあてはまる	13.6	11.9	15.4	10.6	11.9	20.0
		3. ふつう	37.8	36.6	38.9	37.6	36.4	39.7
		4. あまりあてはまらない	18.0	16.6	19.5	17.1	17.8	19.6
		5. ぜんぜんあてはまらない	19.8	22.2	17.3	20.6	24.9	11.9
	こいやがだると思いが	1. とてもあてはまる	9.3	11.7	6.8	10.4	9.3	7.7
		2. わりとあてはまる	11.9	11.3	12.5	9.9	12.4	13.9
		3. ふつう	18.1	20.8	15.4	18.8	17.2	18.5
		4. あまりあてはまらない	13.6	12.3	14.8	11.6	12.4	17.8
		5. ぜんぜんあてはまらない	47.1	43.9	50.5	49.3	48.7	42.1